

第5回 桔梗が丘自治連合会 議事録

日 時	平成23年10月15日(土) 19:30~21:50
場 所	桔梗が丘公民館 大会議室
出 席 者	<p>区長・自治会長 23名 (別紙記載)</p> <p>欠 席 矢頭。</p> <p>自治連合協議会・阪本。</p> <p>事務局・山中、松村。</p>
<p>決議事項</p> <p>1. 議事録署名人</p> <p>2. 桔梗が丘地域ビジョン(最終案)策定の件</p>	<p>大垣副代表幹事が司会を務め、会議が始まった。</p> <p>辻森代表幹事から、時候の挨拶と今月も公民館展、各地域で各種の行事等を活発に実施していただき感謝すると挨拶があった。</p> <p>引き続き、辻森代表幹事が議長となり議事の審議に入った。</p> <p>本会議の議事録署名人に草野聡氏、伊藤裕之氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>協議会・阪本企画運営委員長から、事前に配布させていただいた地域ビジョン「桔梗が丘“ほっとまち”構想」について説明をする旨述べた。説明の概要は次のようなものであった。</p> <p><説明の要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の6ページまでに記載した「6つの基本的な方向」の内容は以前に説明をしたので、本日は主にそれ以降の項目について説明をする。 ・平成22年6月から策定まで53週にわたって検討を重ねてきた。 ・桔梗が丘が目指す将来像として「人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち”桔梗が丘」と定め、その基本理念を設けた。そして具体的な実現に向けての6つの基本的な方向を取り上げる事とした。(①元気・賑わい、②安心・安全、③生きがい・健康、④緑・環境、⑤子ども・未来、⑥自律・規範) ・今般これをDVDにしたのでご覧頂きたい。 <p><DVDを上映・14分間></p>

・ 12ページに“ほっとまち”プロジェクト事業として7項目を掲げた。①「何でも屋お助けセンター」の創設、②「ききょう学び舎」の創設、③「ききょう農楽園」の開設、④「地域環境ねっと」の構築、⑤「地域まもり隊」の創設、⑥拡大版「あそびつくす」の組織化、⑦「ふれあい茶房」の創設。です。

・ 上記の事業推進にあたっては、実施年度、実施主体及び具体的事業内容、事業費、組織等はプロジェクトチームを設置してまとめるものとする。

・ 13ページには事業の推進の方策及び体制について4項目にわたり言及している。①桔梗が丘自治連合協議会の役割、②各種団体との連携・協力、③実施計画の策定、④事業の推進体制の整備、である。

・ 資料編は、14ページから17ページに6項目の基本施策毎に小施策（事業例示）としてまとめて記載している。これらの小施策は基本的に昨年実施した住民アンケート、あったらいい提案に基づいて整理したものである。従って事業実施の時期、順位等については協議会と各プロジェクトチームで検討することになる。

・ 18ページと19ページには当地区の人口推移、昨年のアンケート結果及び考察を記載している。

・ 20ページから22ページには、総まとめに替えて①住民の満足度、不満足度のランキング、②意見記述の集約、③考察として今後取り組んでいかねばならない課題、方策、行政側との連携等について言及した。

最後に、阪本委員長は、10年前に「桔梗が丘マスタープラン」が策定され、我々の先輩方が取り組んでこられた。我々も今後10年間に取り組んでいくことになるが、事業の推進にあたっては、協議会委員会・部会だけではなく住民全員の協力無しには出来ない。又名張市側との連携も欠かせない。今後は地域住民の皆さんのご協力をお願いしたい。

辻森代表幹事（協議会会長）から、これまでの経緯について再度説明（住民アンケート、あったらいい提案等）があり、今後の事業の展開にあたっては、すべての事業・活動が短期間で完全に出来ないかもしれないが、協議会が推進役となり、全住民の皆さんの協力・参画を得ながら一步一步進めていきたいと考えていると述べた。

引き続き、議長は出席者の意見を求めた。

大垣副代表幹事から、今後の予定について次のように報告があった。

同案を明日の理事会で審議する。その後10月30日（日）に住民説明会、来月11月19日（土）開催の臨時評議員総会に諮り、成立の運びとしたい。

<意見交換>

Q. 策定プロジェクトチームのご苦勞に感謝する。文中の「HOT」と「ほっと」の使い分けの意味は何か。

A. 日本語の「ほっと」は心が和む、ほっとする気持ちを含み、「HOT」は文字通り熱く燃える、賑わうという事である。

Q. 高齢者を対象にした事業が無いように思えるがどうか。

A. 高齢者・障害者という言葉そのものは使っていないが、「元気に暮らせるまち」「安心安全なまちづくり」といった所に包含している。

Q. 「知・徳・体」は具体的な表現の方がいいのではないか。

A. 再度、プロジェクトチームで意見をまとめる。

Q. このビジョンの最終年度を10年後となっているが、全ての項目が10年後に最終到達できるか分からないから、表現を工夫してはどうか。

（各自から、10年間で出来る事業の取捨選択、推進方法、到達度について意見交換があった。）

A. 確かに10年後に全て完了できないかと思うので、再度、表現を工夫する。

Q. 事業の具体的な推進方法等はどうか。(事業推進主体は誰が担うのか)

A. 協議会が主体となり、必要の応じたプロジェクトチームを設立することになると思う。当然行政の協働も必要になる事項も多い。

Q. 学童保育の充実を図るとあるが、最近予算が低減になっているが。

A. アンケートの中で大きな要望・感心が多くあったので、今後でも取り組んでいかねばならないと考え取り上げた。

Q. 表現の中で、同じ意味で表現のニュアンスが違うところは、統一したほうが良い。

Q. 交錯している文言は見直しをしてみる。

<p>3. 自治連合会内規(改定案)の件</p>	<p>辻森代表幹事(協議会会長)から、到達年度は<u>10年</u>と表現を変更すると述べた。</p> <p>大垣副代表幹事(協議会副会長)から、同意の発言があり、このビジョンは(案)であるので、その他の事項についても今後きっちりとしていく事になると述べ承された。</p> <p>その他、出席者からは特に意見は無く、採決の結果「地域ビジョン(案)」は全員異議無く承認された。</p> <p>議長から、前回持越しとなった、自治連合会内規改定案について、再度作成して事前配付をしたので、ご意見を頂きたいと述べた。</p> <p>文言の訂正：(資産管理)第8条 <u>前区長会</u> → <u>旧区長会</u> 改定日 平成23年10月18日とする。</p> <p>引き続き前回から改定した内容の確認のあと、採決に移り「桔梗が丘自治連合会内規」は全員異議無く承認された。</p>
<p>4. 災害時要援護者支援制度にかかる個人情報取扱い規則(案)の件</p>	<p>議長から、当規則(案)も再度検討して事前配付したが、ご意見を頂きたいと述べた。</p> <p>文言の訂正：(災害時要援護者登録シートの管理)第3条第4項 確実かつ速やかに<u>破棄</u> → <u>廃棄</u>と改める。</p> <p>説明の後、「災害時要援護者支援制度にかかる個人情報取扱い規則」は採決に移り、全員異議無く承認された。</p>
<p>5. 平成23年度一般会計及び公民館会計中間報告に関する件。</p>	<p>松村事務局次長から、平成23年度一般会計及び公民館会計の中間決算が、別添資料に基づき概ね次のように報告があった。</p> <p><一般会計></p> <p>収入の部は、会費、交付金はすべて予算どおり計上されている。補助金、助成金、報償費は下期の計上となる。金額は配付した中間決算書に記載の通り。</p> <p>支出の部は、健康福祉費の繰出費(敬老の日の費用)、住民交流費の繰出費(夏まつり費用)は、協賛金を事業費に充当することにより予算内に納めることが出来た。快適環境費はゴーヤイベント、ほたる観賞会の費用として支出した。コミュニティ活動費は各自治会・区に配分したもの。</p> <p><公民館会計></p> <p>収入の部は、指定管理料前期分、使用料、その他収入も予算</p>

<p>報告事項</p> <p>1. 公民館展の駐車場整理応援について</p> <p>2. 平成24年度以降の「敬老の日の行事」について</p>	<p>どおり計上。金額は配付の中間決算書に記載の通り。</p> <p>支出の部は、毎月の経費（人件費、管理費等）は予定通り推移している。備品購入費は、老朽化に伴う椅子・会議机、冷蔵庫代及び館内整備のための収納棚、クローゼットを購入した費用。その他の支出の内容は備考欄をご覧頂きたい。</p> <p>議長は引き続き、出席者の意見を求めた。特に発言は無く「平成23年度一般会計及び公民館会計中間決算」は、全員異議無く承認された。</p> <p>辻森代表幹事から、自治連合会内規第7条第3項の支出基準に含む活動は、第3条第3項までの活動等を全て含む。各自治会、ブロックは事前に申し出ていただきたい。具体的金額は次回に提示すると述べた。</p> <p>大垣副代表幹事から、公民館展実行委員会から要請されていた公民館展の駐車場整理の担当時間を資料に記載の通り決定したので、皆様のご協力をお願いすると報告があった。</p> <p>協議会・高槻健康推進部会長から、入院見舞いのお礼を述べた。引き続き平成24年度以降の「敬老の日の行事」の実施について、別添資料にもとづき概ね次のような報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の高齢化に伴い、敬老の日の行事の費用が増加している。（対象者が年々増加する為） ・ 一方協議会の総予算に占める割合も大きく、内容の見直しをしたほうが良いと考える。 ・ 私案を記載しているので、ご意見を頂きたい。 <p><私案の要旨></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 70歳以上の方にはお祝い記念品贈呈 (2) 70歳、88歳の方への長寿記念品は予め予算額を限定し、その範囲内で贈答額を検討する。 <p><意見交換></p> <p>大垣副代表幹事から、敬老の日の行事の課題・問題点は理解されたと思うが、本日結論を得る事は考えていない。次回もしくは年内の結論を目指したいがいかがなものかと述べた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間をかけて検討を進めることは異議無く了承された。
---	---

<p>3. 地域代表者会議の報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討材料として、アンケートを実施してはどうか。 ・ 健康福祉部会から、アンケート用紙を準備し来月の回覧配布時に配付することになった。 <p>辻森代表幹事から、10月11日に開催された地域代表者会議について、次の6項目に亙り報告があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 公民館の指定管理者の指定が23年度末で期限末となる。引き続き指定を受ける手続きを10月末に終える事にし、事務局（公民館）に一任した。 (2) 台風12号による被害状況・災害情報一覧表被害状況一覧(桔梗が丘分)が市側より示された。幸い大きな被害も無く、発生した災害についても、ほとんど対応済である。 (3) 「子どもを守る家」については、発足から10年以上が経過したが、その間一定の効果が認められた。今後も継続の方向で検討されているので、その際にご協力いただきたい。 (4) 三重県自治連合会名張支部として、例年三重県に要望書を提出しており、昨年の内容は伊賀地区の緊急医療体制の整備について出した。本年度も提出する方向で検討中である。 (5) 代表者会議のメンバーが、先進地視察に徳島県に行くが、これに参加する。 (6) 同日、三重県知事との懇談会があった。当地区は、まちづくりに向けて策定中の「地域ビジョン」の話をした。
<p>その他</p>	<p>辻森代表幹事から、現在民生委員が高齢者の実態調査を行っている。名張市側でも防災ラジオの配付希望者の名簿を作成中であり、これらと総合的に連携して、当地区での災害時要援護者の支援体制を推進しなければならない。皆様のご協力をお願いすると述べた。</p> <p>大垣副代表幹事から、明日、理事会で承認を受ける予定の「地域ビジョン(案)」を、来週の10月17日に届けるので、至急回覧をしていただきたいと述べた。</p>

以上で審議は終了した。

議長 辻森保蔵 (印)

議事録署名人 草野聡 (印)

議事録署名人 伊藤裕之 (印)

次回開催 平成23年11月19日(土) 19:30

桔梗が丘公民館 大会議室